

# すまじのこ



幼保連携型認定こども園  
尚綱大学附属こども園

## 独楽遊び

お楽しみ子ども会でサンタさんがプレゼントしてくれた独楽(こま)が年長さんのデッキの入り口に

きれいに飾ってあります。まだ回すことのできる



園児は少数派です。もしかしたらこの冬、回すことが出来なかもかもしれません。それでも小学校に進級してからも、ぜひ大事に持っていかたい。低学年の生活科で遊んだり地域の方を招いての昔遊びがあったりするかもしれない。そうでなくても、今、友達が回す姿を見て、自分もそうなりたいたいと思う気持ち



肥後独楽(丸芯)

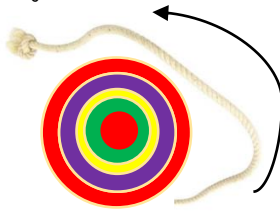
ちを持っていくことでしよう。忘れたころに、友達との話題や何かのきっかけで、ふとチャレンジしたくなる時が訪れるかもしれません。そのようなときは、意外とできるものです。コツを少しずつつかみ、それらしくなってきた時のワクワク感、回せた時の達成感を味わってほしいと思います。

### 独楽遊びの思い出

私も小さい頃、年上の人が回せるのを見て、写真のオレんじ帽の子の年少さんのように憧れをもつて見ていました。

私の子どもの頃は、いわゆる「肥後独楽」が主流で、てっぺんは円錐形をしていました。小学校も上の学年になると、ただ回す

だけでなく、友達との競争をするのが楽しくて、夢中になって遊んでいました。遊び方は、まず三六人くらいで、「せーの」で一斉に回します。できるだけ長い時間回った独楽が一位です。順位が決まるのをただ眺めているわけではありません。回転の勢いが弱くなったら、独楽の紐を独楽の胴



紐で独楽を助ける

体にながてながら反時計回りに回ります。その時間で回転力が増し、長い時間独楽が回り続けます。この技が上手だと一位になりやすいのです。順位が決まったら、第二回戦を行います。二回戦は最下位の人から時間差で回し始めます。ここで上位の者に与えられた特権を使います。それは、先に回っている友達の独楽めがけて、独楽の芯をぶつけ、色が付いた表面に穴を空けるというものです。

そのためには別の独楽を使いましょう。それは芯が尖った「角芯(かくじん)」や、さらに強力な「槍芯(やりじん)」の独楽です。これだと穴をつけやすいのです。しかしこれらの独楽には欠点があります。それは



槍芯

角芯

いろいろな遊びかもしれませんが、いかに上手に紐を回せるのか友達の動きをよく観察し工夫すること、一人の独楽ばかりを狙うのではなく公平に攻める事、順位を優先させるかそれともぶつける醍醐味を味わうのかの自己決定の経験をする事など、大切な事をこの独楽遊びから学んだ気がします。

独楽遊びは仕事やその後の生活には直接役には立っていません。(先日園児の前で見本を見せて歓声が上がったことが、初めて役に立ったことです。)

ですが「遊び」から学べることは、「遊び」だからこそ学べるような気がします。

園での子どもたちは、ただ遊んでいるわけではありません。人生の基礎を学んでいるのです。

### ご支援ご協力ありがとうございました

先日、能登半島地震被害への義捐金協力をお願いをさせていただいたところ、一円一円、一円一円の義捐金が集まりました。県私立幼稚園連合会に送金し確実に被災された方々へ届けて参ります。ご協力誠にありがとうございました。